

第4回 学校運営協議会 議事録

日 時 令和8年2月18日（水） 午後1時～3時

場 所 浜松湖北高等学校佐久間分校応接室

出席者 委員（敬称略） 月花明生、坪井俊介、大見拳也

学校 新井淳一校長、橋本徳一副校長、長谷川竜一教頭

【開会】

1 議事 会議成立 委員3名出席 1名欠席

ア 佐久間分校の近況報告

〔事務局説明〕 佐久間分校の近況について

《委員質問・意見》

- ・12月10日のテレビ放映に対して反響はあったか？

（事務局） 学校見学者数は大幅に増加した。

- ・大学進学実績は素晴らしい。よく頑張っている。学校がチームで取り組んでいる成果である。

イ 令和7年度学校経営報告書関係者評価

〔事務局説明〕 生徒・保護者アンケートについて

自己評価について

《委員質問・意見》

- ・あいさつはよく返してくれる。家庭教育の影響も大きいし、学校が作り上げてきた土壌があるのだと思う。田舎だからこそその特色があるのだろう。

- ・いじめについて分校の状況は？

（事務局） 特に述べる問題はない。

- ・あえて発信力を目標にあげているのはなぜか？総合的な探究の時間は進学する生徒たちも行うのか？授業の発表活動とはどんな場面なのか？

（事務局） 少人数の学校生活であるので、意識して発信力をテーマにしている。総合的な探究の時間は進学の生徒も行っている。授業の中では、ICTなどを使い積極的に発表する場面を設けている。

- ・「授業がわかりやすい」評価が非常に高いが、一般的にはどうなのか？

（事務局） 他校では低い学校もある。分校は習熟度別で授業を展開していることが高い理由であると考えます。

- ・先生たちはよく頑張っている。ウェルビーイングの意識は若者の方が高い。先生たちが見守ってくれている安心感が影響している。

- ・図書館の整備について昨年度は評価が低かったが、本年度は生徒評価も高い。何か工夫があったか？

(事務局) 図書館の利用を呼びかけている成果が出た。授業等でも利用している成果である。

- ・進路実現については、先生たちは非常に面倒見が良い。
- ・生徒が塾ではなく学校の授業で学んでいるのは重要。第一希望に合格するのは非常に困難だと思うがそれでも高い評価を得ているのは素晴らしい。
- ・生徒に必要な情報を与えて進路選択につなげる工夫はあるか？
- ・第一希望をかなえるだけが進路指導ではない。道の途中で様々な選択肢がでてくることを生徒には知ってもらいたい。

(事務局) 個別最適な進路実現を目指している。

- ・ICTの活用について、AIの利用は？生徒への教育は？

(事務局) 県で定められた指針によって、教員が授業等で活用している。AIを体験させる授業を積極的に取り入れている教員もいる。

- ・メディア掲載が非常に多いのは？今年は注目されたからか？一過性でないことを祈りたい。

(事務局) 昨年度からの学校存続の課題を受けた影響は大きい。

- ・設備について、トイレは洋式か？

(事務局) 個室は洋式が多いが、すべてではない。

ウ その他

《委員質問・意見》

- ・先生の働き方についての項目はもっと多くてもよい。先生たちの満足度、幸福感などの項目があるとよい。生徒たちも大切だが、教員の達成感やよろこびなども大事。
- ・共通テストは知識を求めるものではなく、資料の読み取り力や考察力を問う問題になっている。部活動の外部委託は進んでいるか？業務改善の一つにはならないか？
- ・全国募集に舵を切った分校のスクールミッション。見直してもよいのでは？

(事務局) 検討する。

【閉会】